

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 脳血管攣縮期に来院したくも膜下出血症例における治療成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 助教・藤田 聡

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、くも膜下出血を発症した患者さんの内、脳血管攣縮(のうけっかんれんしゆく)*を起こしている期間に初めて当院を受診された方の治療成績を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、くも膜下出血後の脳血管攣縮を伴う症例の治療成績の向上につながります。

* 脳血管攣縮(のうけっかんれんしゆく):

脳内の血管が縮んで血液の流れが悪くなる現象で、くも膜下出血の患者さんの30～70%に生じます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2012年1月～2021年3月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、くも膜下出血後の脳血管攣縮期**に受診し、治療を受けた方。

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析し、発症時の症状、治療方針、治療結果について検討します。

** 脳血管攣縮期(のうけっかんれんしゆくき):

くも膜下出血発症後、約4日から2週間の間に、脳血管攣縮が見られる期間のことを脳血管攣縮期と呼びます。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 年齢、性別、動脈瘤位置、くも膜下出血重症度分類、発症から入院までの日数、画像上血管攣縮の有無・程度、症候性血管攣縮の有無、入院時CT低吸収域の有無、手術方法、術中塩酸ファスジル動注の有無、経皮的血管形成術の有無、合併症、予後評価

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師: 藤田 聡 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、患者様ご本人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名： 助教・藤田 聡

電話： 03-3468-1251 内線： 7436